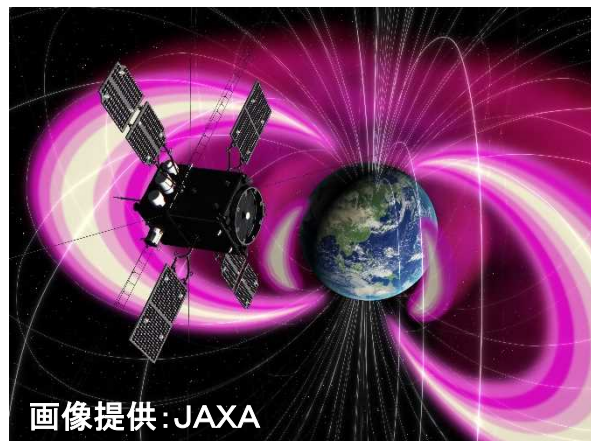


第3回 宇宙産業から学ぶ ものづくりの進め方と新たな産業用途への応用

宇宙には、私達が知らない多くの謎があり、「真理の探求」という学術的な観点から数多くの探査機が打ち上げられています。

また、宇宙科学を進化させるための新しい技術は、私達の生活を豊かにするスピノフとして暮らしの中に取り込まれている事例もたくさんあります。

今回のセミナーでは、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の探査機プロジェクトの実践から、宇宙開発における「ものづくり」の進め方をお聞きする一方、天体から放射されるX線やガンマ線の検出技術が、「ものづくり」や一般産業にも生かされていることを、分かりやすくお話しいただきます。



画像提供：JAXA

日時 2022年2月21日(月) 14:00～16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 ものづくりに携わる企業・個人事業主、
研究開発機関、行政機関等の方 30名

※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。

参加費
無料

第1部 JAXAの探査機プロジェクト に学ぶものづくりの進め方

第1部

講師

清水 幸夫 氏

(JAXA宇宙教育センターアドバイザー)

本講演では、JAXAプロジェクトの進め方、主に科学衛星の開発・試験・運用におけるマネジメントの実践を紹介し、セミナー参加者の皆様がものづくりを進める上で参考になることを、実例を交えて分かりやすくお話しします。

第2部 宇宙技術を次世代の産業用途へ ～新たなイメージング技術への応用～

第2部

講師

有元 誠 氏

(金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター助教)

宇宙最大の謎の爆発現象を探るためのX線・ガンマ線検出の技術は様々な分野に応用できる可能性を秘めています。本講演では、宇宙の技術を次世代の産業用途へ活用する事例についてご紹介します。

講師プロフィール

清水 幸夫 (しみず ゆきお) 氏

JAXA宇宙教育センターアドバイザー

東海大学工学部航空宇宙学科卒業後、東京大学附属宇宙航空研究所研究生を経て同職員。その後、改組を経てJAXA職員。定年退職後、JAXA宇宙教育センターアドバイザーに就任。在職中は主に電気推進エンジンの研究・開発に従事。はやぶさ初号機、はやぶさ2のイオンエンジンの開発・運用を実施。宇宙科学研究所が所掌する科学衛星などの安全・品質保証を統括。宇宙工学の学芸員資格を持つ。京都大学宇宙総合学研究ユニット非常勤講師。大阪府出身。

有元 誠 (ありもと まこと) 氏

金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター助教

大学院では宇宙物理学で博士(理学)を取得後、民間企業(富士フイルム)にて産業用インクジェットプリンタの開発に従事。その後、アカデミックの世界に戻り、現在、金沢大学・先端宇宙理工学研究センターに所属。将来の宇宙X線観測装置の開発に情熱を注ぎつつ、そこで培った技術を医療や産業用途に生かす応用イメージングを進めている。

「先端ものづくり技術交流セミナー(第3回)」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請
②E-mail または FAX(076-260-7191)による申請
のいずれかによりお申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市商工業振興課 担当 山田
TEL:076-220-2205
FAX:076-260-7191
E-mail:syoukou@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和4年2月16日(水)



申込方法等の詳細は、Webサイト
「金沢市産学連携
ネットワーク」
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク 検索

